事例No.	3211
公表年度	R6
団体の属性	その他
団体名	保育園留学推進協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・教育・子育て ・関係人口 ・移住定住

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる！

出典

令和６年度優良事例表彰

全国過疎地域連盟会長賞

北海道厚沢部町（あっさぶちょう）

保育園留学推進協議会

次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる！



全国から園児の受入れを行う「認定こども園はぜる」

審査講評

評価のポイント

- 官民の丁寧な連携に基づき、遊休リソースと新規サービスとの巧みな組み合わせによって「保育園留学」という新たな文化を普及させていこうとする点
- 留学世帯と地元住民との関わりや留学後の保護者同士の交流等、保育園の外の世界における多様かつ偶発的な関係の構築がデザインされている点

審査委員のコメント

地域内外を繋ぐ「関係の種まき」の新たなかたち

地域の弱みと強みの両方を睨んだ結果としての「保育園留学」という鮮やかな回答は、今後様々な地域に導入されていくべき取り組みであると感じます。行政と民間、そして保育園がコミュニケーションを取りながら、オンライン診療や夕食サービス等の様々なコンテンツを付帯させていく姿勢も高く評価できます。留学園児の成長や進学に伴う派生需要や新たな関係づくり等、これからの様々な可能性にも期待したいです。



取組の概要

保育園の一時預かり事業、移住体験住宅などの遊休施設、まちの暮らしを体験できる収獲体験などのプログラムを「保育園留学」としてパッケージ化。保育園留学の受入窓口をシステム化し、町と連携協定を締結している㈱キッチハイクと官民連携により全国から保育園留学したい子育て家族を1週間～3週間受け入れ、ワーケーションを促進し、超長期的な関係人口創出と地域活性化を図る。



アスパラ収獲体験の様子



テレワークも可能な移住体験住宅



園児たちの「あっさぶメークイン」収獲体験



自分たちで収穫した野菜をつかって「はぜる園庭クッキング」

取組のKEY PLAYER



木口 孝志さん
［保育園留学推進協議会事務局（厚沢部町政策推進課主幹）］



山本 雅也さん
［株式会社キッチハイク代表取締役］

次の100年を創造する関係人口創出を目指します。

保育園留学は、コロナ禍による働き方の多様化やコロナ禍における制限等が子育て環境の充実を求める子育て世代のニーズにうまく合致した取り組みです。

また、保育園留学児へのメリットはもちろんですが、在園児におけるメリットも大きく、たくさんの保育園留学児が訪れることで、「飛行機できた」「数十階のマンションに住んでいる」「フェリーできた」など、在園児の非日常と留学児の日常が触れ合うことで、好奇心やコミュニケーション能力の向上に繋がっています。最近では海外から保育園留学に訪れるケースもあり、在園児にとっては、この小さな過疎の町にいながら保育園留学を通して世界を知ることができる貴重な経験となっています。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

合浦 博昭さん［厚沢部町副町長］／**髙田 一弥**さん［保育園留学推進協議会長］／**木口 孝志**さん［保育園留学推進協議会事務局（厚沢部町政策推進課主幹）］／**斉藤 紋子**さん［認定こども園長］／**橋端 純恵**さん［認定こども園主幹保育教諭］／**西村 智香**さん［認定こども園主幹保育教諭］／**小田 教貴**さん［素敵な過疎づくり㈱推進員］／**山本 雅也**さん［株式会社キッチハイク代表取締役］

北海道厚沢部町（あっさぶちょう）

団体名……保育園留学推進協議会
所在地……〒043-1113 北海道檜山郡厚沢部町新町207番地
連絡先……TEL：0139-64-3312
E-mail：s-seisaku@town.assabu.lg.jp
URL：https://hoikuen-ryugaku.com/destination/hokkaido/assabu



自治体・団体の詳細は
こちらからご覧いただけます。